

平成 29 年度 愛媛県がん診療連携協議会
第 2 回 がん看護専門部会 議事録

1. 開催日時 平成 30 年 1 月 30 日（火）13：00～13：40
2. 開催場所 四国がんセンター 地域医療連携センター3 階 研修室③
3. 司会進行 四国がんセンター看護部長 吉田 眞弓
4. 出席者 16 名 出席者一覧参照
5. 部会員交代 済生会松山病院 松本久美子看護部長から、柏美栄子看護部長に交代
6. 議題内容

1) 平成 29 年度がん看護専門部会研修報告（別紙①、②参照）

・今年度は 3 つのがん看護専門部会主催の看護師研修を計画し実施した。

① がん看護実践能力向上研修（平成 29 年 8 月 29 日～10 月 11 日）研修生 9 名、
聴講者延べ 304 名

②基礎から学べる！がんと遺伝子（平成 29 年 10 月 28 日）受講者 34 名、

③コミュニケーション（平成 30 年 1 月 27 日）研修生 19 名

・外部から依頼のあった研修は「放射線治療看護」「がん性疼痛看護」「緩和ケア」「コミュニケーション」の 4 つであった。

・今年度はあと、2 月 24 日（土）「コミュニケーション」研修を済生会松山病院で予定している。

2) 平成 29 年度以降のがん看護実践能力向上研修会報告

(1) 受講者の状況

・平成 29 年度までのがん看護実践能力向上研修会に 118 名が受講終了している。（別紙③参照）

＊資料③の中予地区に、松山西病院 3 名、N T T 病院 2 名、済生会松山病院 2 名の記載漏れがあるので、修正をお願いします。

(2) 平成 29 年度以降のがん看護実践能力向上研修会研修評価

・研修評価では研修生が各項目の達成状況を 5 段階評価で示している。（別紙④参照）

・研修の達成度は事前評価平均が 2.48 点、病棟実習前が 3.18 点、研修終了時評価が 3.75 点と少しずつ研修達成度は上がっている。これは昨年度まで行なっていた「愛媛県がん看護実践に強い看護師育成研修会」とほぼ同値であった。

(3) アンケート結果（別紙⑤参照）

・自分が今後どうしていきたいか、どうすべきか考えることができた。（研修生）

・たくさんの知識や技術を習得することができた。自己の課題を知る、という重要なことを学ぶことができた。（研修生）

・昨年までの 33 日間の研修から今回 30 日間と日程を短縮したことで参加しやすかった。

（派遣元看護部長の意見）

・応募の際に中小規模の施設が応募しやすいよう、募集人数を 12 名より増やすと良いと思う。

（派遣元看護部長の意見）

・あまりたくさんの研修生を受け入れると、指導が行き届かなくなるので、多すぎない方がよい。

（派遣元看護部長の意見）

(4) ファローアップ研修での活動報告と今後の課題（別紙⑤参照）

- ・平成 29 年 12 月 5 日（水）にファローアップ研修を行った。
- ・研修生個々が、自分たちの病院あるいは病棟の特性を踏まえ、今行える活動を考えて実践していることが分かった。
- ・がん患者へのケアのみでなく、本人や家族の状況理解や精神的なケアなど、学んだことを他の疾患や状況の患者・家族のケアでも活かしていけることに気がついている。
- ・自部署で必要だと思う取り組みがあっても、上司に必要性を理解してもらえる説明ができないという悩みを抱えていることが分かった。
- ・根拠となる文献を用いたり、実践を通して見出した課題を伝えられるようになるにはまだ訓練が必要である。
- ・研修を通して学んだことを、実践で活かすことができていた。今後、周囲のスタッフとともにケアに取り組めるよう言語化する力を養う必要がある。そのためには、理論や症状の発生機序などを理解する機会を設けることを検討し、平成 30 年 1 月 31 日（水）にセルフケアについての研修を行う予定となった。
- ・フォローアップ研修では過去の研修生も参加し意見交換する中で、自部署の取り組みや悩みを話し、連携が取れているように感じる。

3) 次年度以降のがん看護実践能力向上研修会について（別紙⑥参照）

1) 企画委員の体制について

(1) 研修企画委員について

①現状について

- ・平成 29 年度は 7 名を予定していたが、5 名で行った。企画は 5 名でも行えるが、ファシリテーターとして関わるには 5 名の人数では個人の負担がかなり大きい状況になっている。
- ・この何年間同じメンバーで企画を行っており、少し行き詰まりを感じている。

②各拠点病院からの新しい企画委員の参加の要請について

- 済生会今治病院：今年度は人間的に難しかったが、来年度は協力できる。勉強する機会となるとともに、他の方との交流の場にもなる。1 名参加できる。
- 松山赤十字病院：企画的のところで教育的視点であるとか、教育委員をしていてスタッフをどう育てたいかなど課題を持っている者であれば、全ての日程に出ることは難しいが協力はできるのではないかと思う。
- 市立宇和島病院：できるだけ協力はできる。

*ファシリテーターは特別な訓練・研修を受けている者でないとだめなのか。

- 専門看護師・認定看護師に問わず、がん看護に携わっていて教育的役割を持たれているスタッフであればよいと考える。新しい視点から意見を出してもらい、後輩を育てる意味でも是非企画委員として参加していただきたい。あまり負担にならない程度で調整していきたい。

2) 研修内容について

今年度、ELNEC-J および厚労省委託日本看護協会「がん医療にかかわる看護研修事業」の内容をもちこみ、ELNEC-J の修了証を発行する予定とした。評価は研修終了後に実施し、2月までには出す予定である。

3) その他

①企画委員会や ELNEC-J の開催案内はいつ頃くるのか。

→来年度の企画案内は3月には案内したいが、企画委員会を例年4月に開催しているため、少し早めの開催になるかもしれない。決定後、早めに案内したい。

②がん看護部会以外の専門部会は同日に開催している。他の専門部会での検討内容や決定内容などをこの会で報告してもらおうと情報共有になるのではないか。

→次回より部会長から報告し、情報共有を行う。

(出席者一覧) 部会名簿

施設名	職位	氏名 (敬略)	代理出席者
四国がんセンター	看護部長	吉田 眞美	
住友別子病院	看護部長	守屋 昭子	
済生会今治病院	看護部長	曾我部 恵子	
愛媛大学医学部附属病院	看護部長	久保 幸	
愛媛県立中央病院	看護部長	菅 朋子	欠席
松山赤十字病院	副院長兼看護部長	小椋 史香	
市立宇和島病院	看護部長	中橋 恵子	
HITO 病院	看護部長	園部 貴美	欠席
四国中央病院	看護部長	毛利 美鈴	
愛媛労災病院	看護部長	伊藤 千鶴	
十全総合病院	看護部長	鎌倉 文子	
済生会西条病院	看護部長	三島 栄里子	
松山市民病院	看護部長	三笠 照美	
済生会松山病院	看護部長	柏 美栄子	
市立八幡浜病院	看護部長	清水 美智子	欠席
四国がんセンター	副看護部長	上柿 博美	
〃	副看護部長	小林 奈々	
〃	看護師長	平田 久美	
〃	副看護師長	宮脇 聡子	